

紀伊半島大水害(平成 23 年 9 月 4 日) 跡の例

町道上部斜面(写真②)で崩壊が発生しており, 下流側家屋等の変状はその影響ではないかと考えた. しかし町道面等にそれを裏付けるような現象がないため, 思案しながらたどり着いたのが写真①の災害記録.

写真②の広場では水深 5m 程度となることから, それらが建造物の背面に廻るなどして被害をもたらしたようである. ちなみに降水量は 6 日間で 1200mm 程度と記録されている.



① 到達水位の記録: 町道面より 3m 程度



② 町道下流側家屋の変状



家屋基礎等の割れ



町道擁壁のズレ
(この付近の水深 4m 程度以上)



歩道面の変状



水路側壁の変状
(この付近の水深5m程度以上)

